

平成28年 1月市長定例記者会見

日 時：平成28年1月6日(水)午前11時～11時30分

場 所：小杉庁舎401会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、朝日新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、射水CATV、エフエムいみず、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、市長政策室長、行政管理部長、市長政策室次長、農林水産課長、港湾・観光課 秋元主任、まちづくり課長(司会)

質疑応答の概要

Q1. 1月9日から映画「人生の約束」が公開されるが、射水市民が映画を見るためには富山市のファボーレや高岡市のイオンモールに足を運ぶしかない。射水市民に映画に向かってもらう又は市内で映画を見てもらうような鑑賞を後押しする市としての取組があれば聞かせてほしい。

A1. 映画「人生の約束」については、1月9日(土)に全国東宝系列の映画館で一斉公開される。石橋監督と対談を行ったが、ぜひ2回以上見ていただきたいと言われている。1回目は知った場所や人が出てくるためあまりストーリーに入り込めないのではないかと、2回以上見ていただければストーリーの方も楽しんでもらえるのでは、という話もあった。また、1月4日に開催された県内経済5団体合同の新春交礼会での富山商工会議所 高木会頭のあいさつに「全国で100万人に見ていただきたい。そのためには県内で2、30万人に見てもらわなければならない。もちろん射水市民の方は2回以上見てもらいたい」という発言もあった。このように激励をいただいているところである。

私どもとしては、地元を盛り上げていくという中でも、映画「人生の約束」をぜひ多くの市民の皆さんに見ていただきたいということで「人生の約束」公開のロゴが印刷された年賀はがきを販売したり、いろいろな機会を通じて映画公開の広報もしている。機運も高まっているように考えている。ぜひ、多くの市民の皆さんにご覧になっていただきたいと切に願っている。(市長)

Q2. 片山学園の誘致について、今年度中に片山学園と立地に関する基本協定を結ぶ方針だったと思うが、片山理事長は今年中に計画書をまとめて県に提出したい意向のように聞いている。市としての今後の片山学園と

の関わり方、合意に向けた協議についてどのように考えているか聞かせてほしい。

A2. 片山学園初等科誘致については、昨年12月定例会の中でも質問や指摘があったところである。繰り返しになるが、片山学園から立地に向けた計画を県へ出すということなので、しっかり思いを聞かせていただきながら情報共有を図りたいと思っている。

私どもとしては、こういった中で現在の庁舎が庁舎でなくなることについてのいろいろな不安をお持ちの方もいらっしゃると思います。この不安を解消するために近隣地域の方々への説明会であったり、年末には校区内にある歌の森小学校の父兄の方々にお話しする機会を設け、不安の解消に努めてきている。また、地域の方々の思いを受けながらより良い環境作りに向けて今後も取組を進めて行かなければならないと考えている。そういった中でより良い土地の活用が図れるように、今後もしっかり情報を共有しながら取組を進めて行こうと考えている。

基本協定については、合意に至る段階で交わすものと考えているので、そのようなことを踏まえながら進めて行ければと考えている。(市長)

Q3. 映画「人生の約束」について、人とつながるというテーマであるが、市長自身はどのようなことを感じたか。

A3. 私も高校を卒業して大学は県外に進学した。故郷を離れると、地元に住る友人に話を聞きながら地元がどうなっているか気にかけていた。今回の映画も、人と人のつながりという意味で自分自身の生き方、人生を考える主人公が描かれる映画となっている。ぜひ、多くの方に、特に故郷を離れている方に見ていただき「故郷はどうなっているか」、「あの友人はどうしているだろうか」と改めて気にかけていただく機会にしていただければ良いと思っている。今、地方創生が叫ばれている中で、地方に多くの方々が意識を向ける良いきっかけにもなる映画ではないかと思う。あわせて、この映画を見ていただいて、実際に舞台となっている射水市に行ってみようとなればありがたいと思う。

公開とともにいろいろな反響があると思う。私どもとしては未知の経験になるだろうが、映画を見て実際に射水市に来られる方もいるのではと思っている。そういった方々に良い所だと言っただけのおもてなし、受入れの体制についても考えて準備をしていきたい。(市長)